

第429回 6月定例会

【会 期】 5月26日～6月18日(24日間)

【議決内容】 市提出議案8件を可決、6件の専決処分を承認、市会案1件を可決しました。3つの常任委員会の審査内容は、p.4～p.6に、全議案の議決の詳細は、p.12～p.13に記載しています。

ポイント!

鯖江市独自の新型コロナウイルス感染症対策、どんなものがあるの?

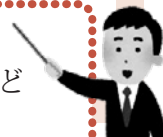
・一般会計補正予算(議案第35号)(議案第36号)(議案第42号)

いまだ収束する気配を見せない新型コロナウイルス感染症。その影響は、鯖江市内のいたるところにみられます。昨年度から、国・県・市は各種コロナ対策事業を実施してきましたが、今定例会で提案された鯖江市独自のコロナ対策は、どんなものがあるのでしょうか。総務・産業建設・教育民生の3つの常任委員会で審査しました。

県外へ進学した学生への支援策は? (⇒p.5)
感染拡大に苦しむ企業への支援策は? (⇒p.6)
障がいのある方への支援策は? (⇒p.7)

常任委員会とは…

市の業務をいろいろな部門に分け、議案などについて詳しく審査するための委員会です。



昨今の大雪災害への備えは?

・一般会計補正予算(議案第36号)

平成30年、令和3年と繰り返される大雪災害に対し、除雪協力業者が減少するなど、新たな問題が浮き彫りになりつつあります。災害に備え、どのような取組が考えられているのでしょうか。(⇒p.7)

総合交通・まちづくり推進特別委員会

本委員会は、北陸新幹線・在来線・福井鉄道・コミュニティバスなどの公共交通および、まちづくり施策全般にわたり、活動してきました。

北陸新幹線の工事遅延等による掛かり増し経費の発生や県による特急存続の断念発表の都度、鯖江市議会として意見書を提出するとともに、コミュニティバスのダイヤ編成等については、体験乗車による課題の洗い出し、乗車時間の短縮、利便性の確保等について議論してきました。

今後、新幹線開業後の並行在来線における鯖江駅東口改札の設置および駐車場を含めた駅周辺の整備、サンドーム新駅設置等、喫緊の課題についてのさらなる議論が必要となります。(⇒p.4)



JR鯖江駅東口の様子

議会ICT化推進特別委員会

鯖江市議会のICT化を推進することで、効率的で迅速な議会運営や、ペーパーレス化によるコスト削減と地球環境の保護、さらには新型コロナウイルスや自然災害などの有事に備えることを目的として、令和2年8月に設置されました。

9月定例会からは、全議員にタブレット端末を貸与し、紙、電子の2種類の資料を併用しながらのテスト導入の後、紙での資料配布を段階的に廃止し、本格的な導入を目指していきます。(⇒p.13)



(議場にてタブレット端末で資料を見る議員)